

もっと知りたい！！ 宇宙のこと

最新情報はこちらを check!



NAOJ 国立天文台

HP: <https://www.nao.ac.jp/>



JAXA 宇宙航空研究開発機構

HP: <https://www.jaxa.jp/>

8月の天文情報



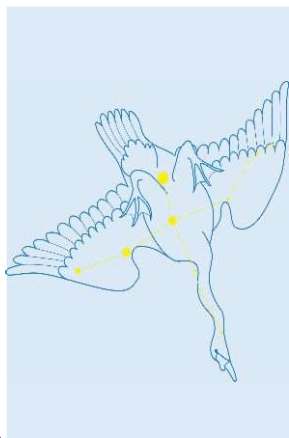
伝統的七夕

太陽暦で7月7日の七夕ですが、今年も当日は曇りのため見られませんでした。7月は梅雨がつづくこともあり、天の川を見られる確率が低いです。

そのため国立天文台では、天の川がキレイにみられる8月。太陰太陽暦(旧暦)で七夕にあたる日を「伝統的七夕」と呼ぶことにし、今年は8月19日が「伝統的七夕」の日にあたります。

8月は梅雨明けのため晴天率が高く、晴れていれば夏の大三角アルタイル、ベガ、デネブを夜空で探すことができます。当日19日は新月前後の暗い夜のため月明かりの影響が少なく、21時頃には、こと座が頭を上げた真上近くにあり、わし座も高く上っています。空気が澄んで街明かりが少ないところなら、より天の川がキレイに見られるでしょう。キャンプや帰省の際は夜空を見上げて見てください。

星座のあれこれ



はくちょう座

天の川の中に十字に並んだ星が翼を広げた白鳥に見えることから、名前がついた星座。北十字星とも呼ばれています。はくちょう座の一等星デネブは尾の位置で光っています。

天の川を知りたい！

天の川銀河 130 億年

渦巻く星々の進化を探る

出版社: 日経サイエンス

著者: 日経サイエンス編集部編



宇宙の大規模構造を構成する基本要素である「銀河」とはいかなる存在なのか。そうした銀河を構成する星々はどうのような進化を遂げてきたのか。広大な宇宙を知るための「天の川銀河」研究の最前線を紹介する。

(紹介文はすべて TRC MARK より引用)

裏面にもつづきますー

★今月のテーマ「流星群」★

三大流星群の一つであるペルセウス座流星群が8月に見頃を迎えます。

2026年のペルセウス座流星群の活動は、8月13日11時頃にピークを迎えますが、残念なことに日本では昼間になるため観察することが叶いません。日本で流星が多く見られる時間帯は13日夜明けです！また今年は去年と違い新月のため、月明りの影響が少なく数年に一度の好条件となります。13日はお盆休みと重なるので、夏休みの予定の一つに天体観測もいかがですか？

おすすめの本



星と天体観測と旅の本

出版社：昭文社



星と天体観測が楽しめる旅と体験を提案するガイドブック。星を観に行くための旅をはじめ、星好きたちの観測術、天体観測のできる宿などを紹介。



今夜、流れ星を見るために 夜空に降るひとすじの輝きをもとめて

出版社：誠文堂新光社

著者：星空さんぽ編集部編

イラスト：宮下やすこ(カバー、本文)、有留晴香(星図)



流れ星は、特別な道具を使わなくても、誰もが簡単に見ることのできる星空ショーです。いつ、どこで、どのように見ればよいのか、そのポイントを解説。流れ星や流星群の正体、撮影の仕方なども紹介します。



星を楽しむ天体観測のきほん

月食、日食、流星群、彗星、宇宙で起こる現象を調べよう

出版社：誠文堂新光社

著者：大野 裕明、榎本 司



肉眼での観測、双眼鏡での観測、カメラを使った観測…。天体観測を始める上で知っておきたい天体現象のしくみや観測に必要な道具、観測手順、上手に観測するためのポイントを、写真や図表とともに解説します。